



一人が動く、社会が変わる

～持続可能で公正な社会を目指して

国際青年環境NGO A SEED JAPAN





A SEED JAPAN団体紹介

A SEED JAPANの始まり

1992年6月の地球サミット（国連環境開発会議）に青年の声を届けるために、1991年10月に日本の若者により設立。

将来を担う若者が声を上げた！



地球サミット「持続可能性」の重要性の認識

気候変動枠組条約 国連砂漠化対処条約 生物多様性条約



A SEED JAPANのミッション

国境を越えた環境問題と
その中に含まれる社会的な**不公正**に注目し、
より**持続可能**で**公正な社会**を目指す。

環境問題を解決するために必要なこと（原因と解決策）

持続不可能な大量生産・大量消費・大量廃棄
弱い立場の声配慮されない**不公正**な社会



持続可能で**公正**な社会の実現が、環境問題の解決には必要

「ESGウォッシュに対する意識調査」集計結果・中間報告
「ESGウォッチ・インフォメーションシート」

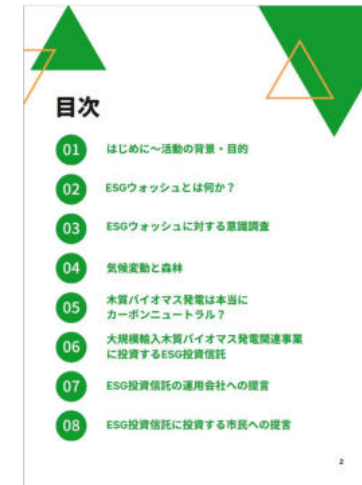


インフォメーションシートについて




インフォメーションシートについて

目次

1. はじめに～活動の背景・目的
2. ESGウォッシュとは何か？
3. ESGウォッシュに対する意識調査
4. 気候変動と森林
5. 木質バイオマス発電は本当にカーボンニュートラル？
6. 大規模輸入木質バイオマス発電関連事業に投資するESG投資信託
7. ESG投資信託の運用会社への提言
8. ESG投資信託に投資する市民への提言

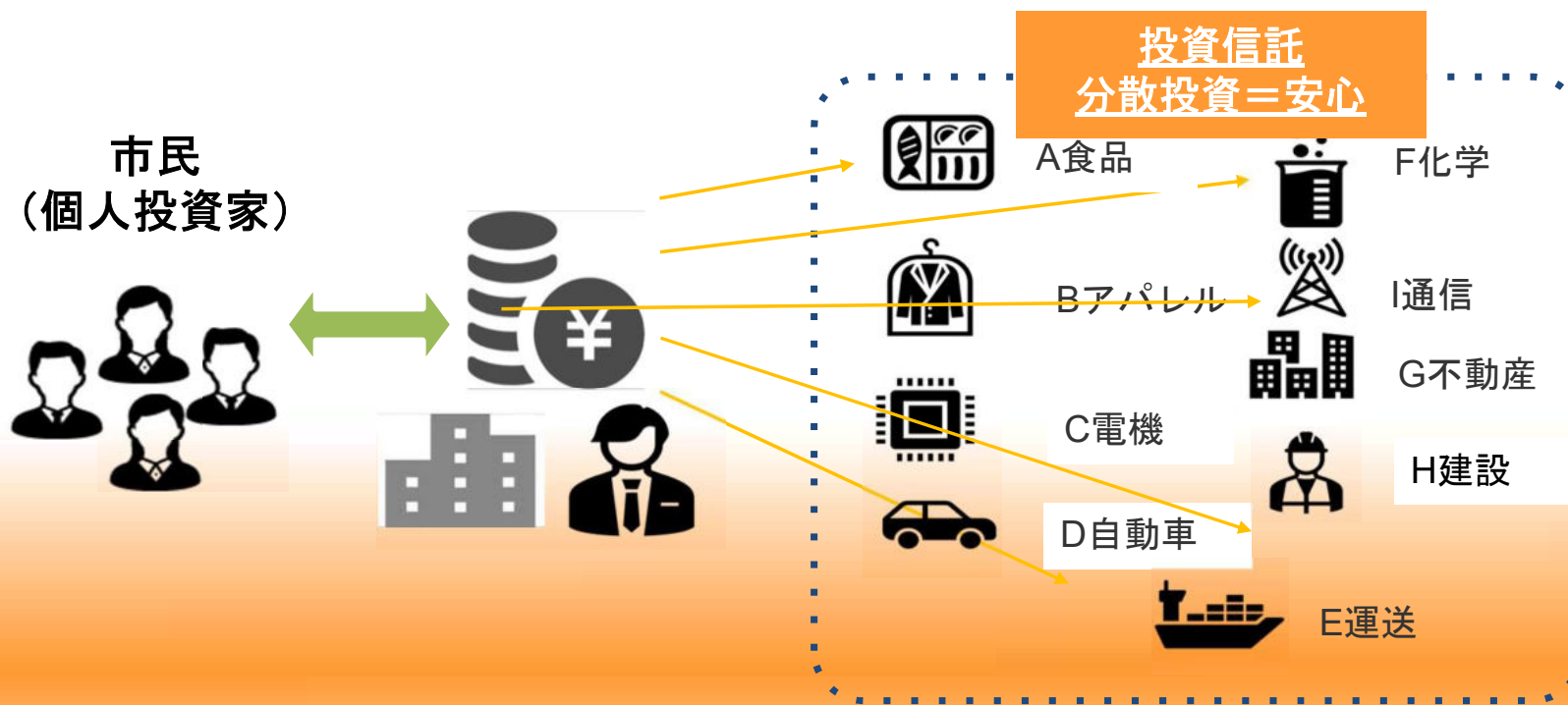


ESG投資とは？

- 売上高や利益といった財務情報のみならず、そういった数字に出ない**非財務情報**として投資先の企業の環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）の側面を考慮する投資
- **E(Environment)**：環境問題の解決への取り組み 
- **S(Social)**：社会問題の解決への取り組み 
- **G(Government)**：公正かつ透明性の高い経営を行うこと 

投資信託とは？

- 金融商品の一つ
- 投資家（私たち個人投資家を含む）から集めたお金を、資産運用の**専門家**が**株式や債券等に分散投資**して、その利益を投資家に分配するもの
- ESGに配慮して投資先を選んだ投資信託＝**ESG投資信託**



ESGウォッシュとは？

- ESG配慮をうたいながら実態が伴わないこと
- エコを謳いながら実態が伴わない“グリーンウォッシュ”のESG版
- 特に注目するのが、投資信託における「ESGウォッシュ」



インフォメーションシートの作成と 「ESGウォッシュに対する意識調査」実施の動機

ESGとは？

- **SDGs**やその他社会的目標を達成するための重要な手段
- **投資**する側、また投資を受ける側（企業）が考えること



「どのくらい一般の人に認知されているのだろうか？」

「個人もESGを知り、考え、賢く行動することが必要！」

インフォメーションシートについて

目次

1. はじめに～活動の背景・目的
2. ESGウォッシュとは何か？
3. ESGウォッシュに対する意識調査
4. 気候変動と森林
5. 木質バイオマス発電は本当にカーボンニュートラル？
6. 大規模輸入木質バイオマス発電関連事業に投資するESG投資信託
7. ESG投資信託の運用会社への提言
8. ESG投資信託に投資する市民への提言



「ESGウォッシュに対する意識調査」 集計結果・中間報告

インフォメーションシート

目次

1. はじめに～活動の背景・目的
2. ESGウォッシュとは何か？
3. ESGウォッシュに対する意識調査
4. 気候変動と森林
5. 木質バイオマス発電は本当にカーボンニュートラル？
6. 大規模輸入木質バイオマス発電関連事業に投資するESG投資信託
7. ESG投資信託の運用会社への提言
8. ESG投資信託に投資する市民への提言

活動の背景

- 預金・貯金だけでは資産が増えない
- 老後の生活に対する不安
- 比較的低リスクで気軽に運用できる「投資信託」の保有率が、若年層の間で伸びている
- 今後より多くの若者がESG投資信託に投資していく



ESGウォッシュを見抜くための知識を備えなければ、
ESGに関する意欲があるにもかかわらず、
ウォッシュのリスクが高い投信へ投資する恐れがある

「投資」に意欲がある若者が、 ESGウォッシュに巻き込まれる恐れ

「専門知識が
無くても」

「低コストで」

「ローリスク
ローリターンで」

「将来の自分や
家族のために」

市民
(個人投資家)



投資信託
分散投資＝安心



A食品



F化学



Bアパレル



I通信



G不動産



C電機

H建設



E運送



「ESG」なのに、
兵器関連？

「ESG」なのに、
石油・石炭？

ESGウォッチ～活動の目標



調査



啓発



発信・提言

- **ESGウォッシュの無い投資信託**
- **ESGウォッシュを引き起こす社会構造そのものの改善**
- **若年層が自身の資産形成だけでなく**

持続可能な社会の実現に貢献できる社会

インフォメーションシート

目次

1. はじめに～活動の背景・目的
2. **ESGウォッシュとは何か？**
3. ESGウォッシュに対する意識調査
4. 気候変動と森林
5. 木質バイオマス発電は本当にカーボンニュートラル？
6. 大規模輸入木質バイオマス発電関連事業に投資するESG投資信託
7. ESG投資信託の運用会社への提言
8. ESG投資信託に投資する市民への提言

ESG

▶E : Environment(環境) 環境問題の解決への取り組み

温室効果ガスの排出削減・再生可能エネルギーの使用・生物多様性など

▶S : Society(社会) 社会問題の解決への取り組み

ジェンダー平等・労働者の安全衛生の確保・ワークライフバランスなど

▶G : Governance(企業統治) 公正かつ透明性のある企業統治

情報開示の透明性・ステークホルダーとの対話・法令遵守など

ESG投資が注目されるようになったきっかけ

➤ 責任投資原則(PRI)

地球規模の環境問題や社会問題に対する意識の高まりを背景に、2006年に国連が提唱。

原則①：

「私たちは投資分析と意思決定のプロセスにESG課題を組み込みます。」



金融機関だけでなく個人がESG投資を知る意義

- 特に若い世代にとって投資をする必要が増加
- 持続可能な社会の実現のために、
自分が投資するお金に責任を持つ必要

ESGについての知識がないと、

ESGウォッシュに巻き込まれてしまう

ESGウォッシュとは

- ESG配慮を謳いながらも、実際の運用プロセスが異なること
- 投資信託におけるESGウォッシュが増加している！



投資信託におけるESGウォッシュの増加（金融庁の調査）

➤ ESG専門部署の有無

「ESG投信を扱う資産運用会社にESG専門部署の有無を聞いたところ、**約3割の11社がESG専門部署を設けていなかった**。ESG専門人材の有無に関しては、**0人と答えた運用会社が38%と最も多かった**」

（日経ESG「増えるESG投信に金融庁が疑問の目」）

➤ 運用の外部委託

「調査対象としたESG投信のうち、63%が運用を外部委託していた。一部を外部委託している4%と合わせると、**約7割が運用を外部委託**していることになる。」

（日経ESG「増えるESG投信に金融庁が疑問の目」）

➤ 運用についての開示の不徹底

上位10社しか組み入れ銘柄を公開していないものもある。

運用報告書、月報などでの開示が不十分。

（「資産運用業高度化プロセスレポート2022」）

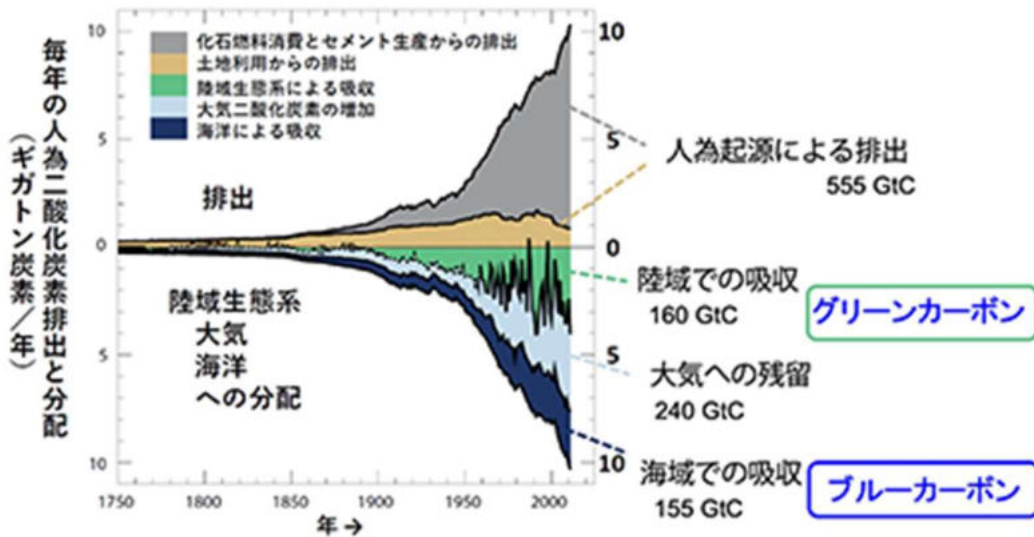
インフォメーションシート

目次

1. はじめに～活動の背景・目的
2. ESGウォッシュとは何か？
3. ESGウォッシュに対する意識調査
4. **気候変動と森林**
5. 木質バイオマス発電は本当にカーボンニュートラル？
6. 大規模輸入木質バイオマス発電関連事業に投資するESG投資信託
7. ESG投資信託の運用会社への提言
8. ESG投資信託に投資する市民への提言

森林はCO2吸収に どの程度貢献しているのか

人為的な二酸化炭素排出量と配分(吸収先)の推移



毎年の人為起源CO2排出と大気・陸域・海洋への配分 (1750~2011年) [IPCC (2013)より
図6/8 (Ciais et al. 2013)を和訳・転載] 文部科学省・気象庁「日本の気候変動2020」(詳細版)

森林の保全は、温暖化抑制、1.5°C目標に向けて重要な役割を担う。

- 排出されたCO2の約半分が大気中
 - 約29%が陸域(主に森林)
 - 約26%が海に吸収されている。
- 森林は毎年排出しているCO2の2倍の量を吸収。
 - 排出量：年間81億 t
 - 吸収量：年間156億 t
- 森林の吸収量は、干ばつや火災などの影響で変動
 - 今ある森林を吸収源として守っていく必要性

図1 人為的な二酸化炭素排出量と配分(吸収先)の推移

<https://www.eic.or.jp/library/wind/002/>

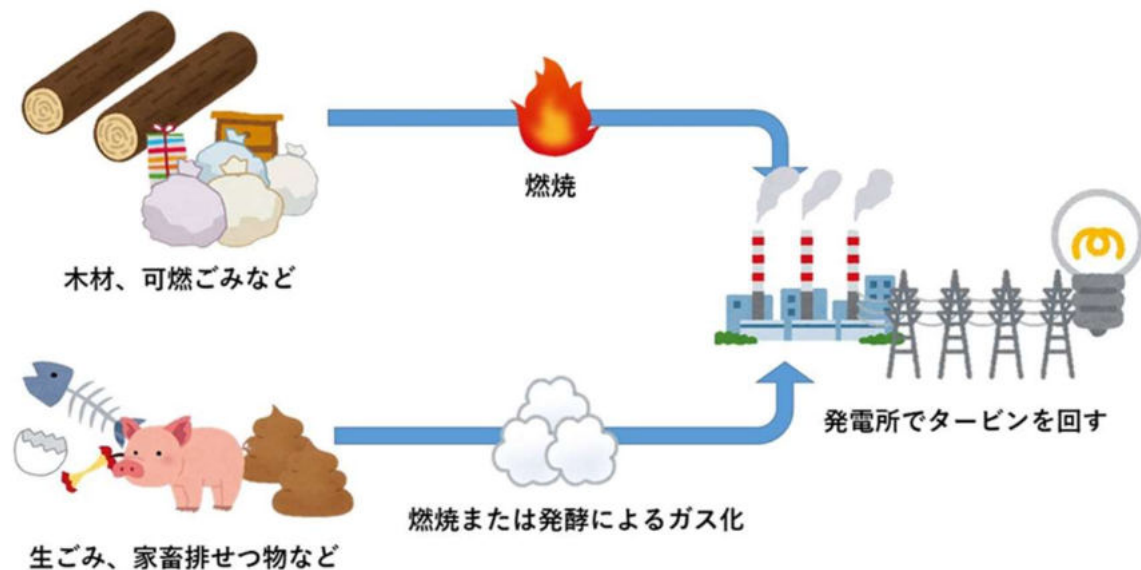
インフォメーションシート

目次

1. はじめに～活動の背景・目的
2. ESGウォッシュとは何か？
3. ESGウォッシュに対する意識調査
4. 気候変動と森林
5. **木質バイオマス発電は本当にカーボンニュートラル？**
6. 大規模輸入木質バイオマス発電関連事業に投資するESG投資信託
7. ESG投資信託の運用会社への提言
8. ESG投資信託に投資する市民への提言

木質バイオマス発電とは

宮城県のバイオマス発電所
(上・仙台市、下・石巻市)



➤ バイオマス発電とは？

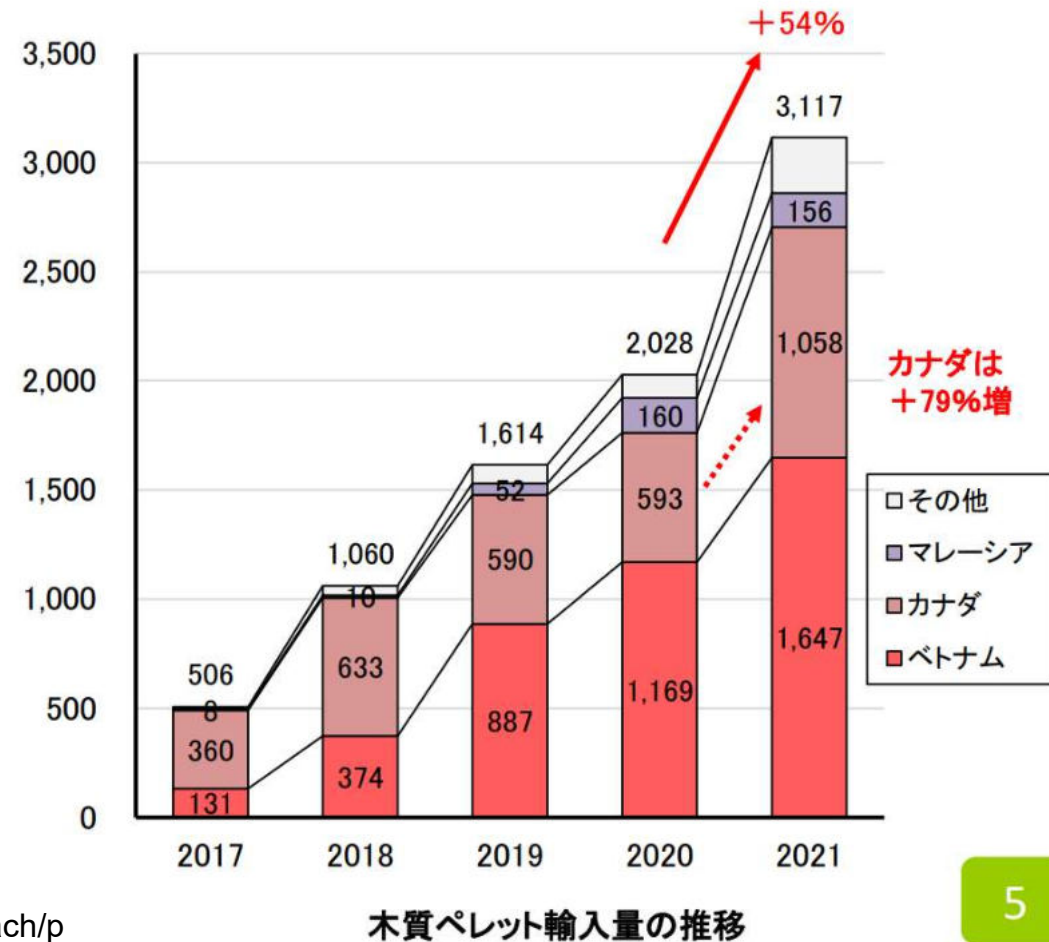
生物由来の燃料の燃焼・発酵によるガスを利用した発電

➤ 木質バイオマス発電

木材由来の燃料を使用したバイオマス発電

日本のバイオマス発電

- 再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）の支援を受けて、急拡大
- 国産の木材では供給が追いつかない
- 燃料としての木材の輸入量が急増
- 木質ペレット（木質バイオマス燃料の一つ）は、カナダやベトナムからの輸入が急増(12年7万 t →21年311万 t)



(右図) 林野庁「2021年の木材輸入実績」
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/boutai/yunyu/attach/pdf/boueki-75.pdf>

木質バイオマス発電の「メリット」



CO₂

「燃焼時に排出されるCO₂は、
森林が再成長する過程で吸収（**ゼロ・カウント**）」
「**カーボンニュートラル**」（CO₂の排出と吸収が均衡）



と言われてきた

しかし . . .



木質バイオマス発電のデメリット①

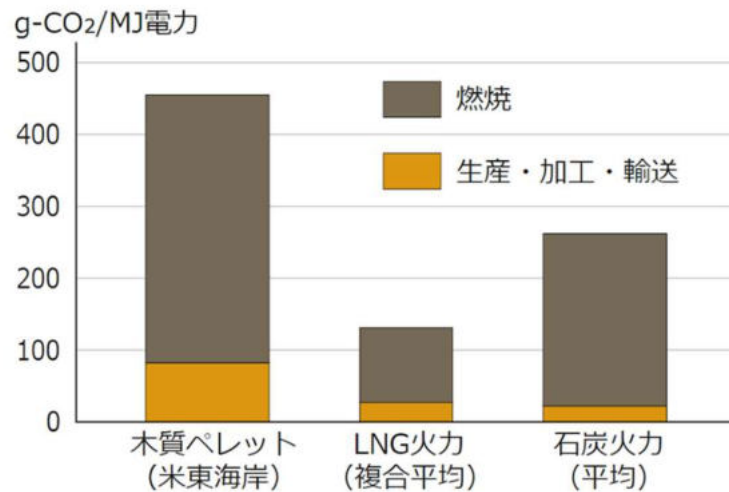


図8：米国東海岸からの木質ペレットのGHG排出量と化石燃料との比較（燃焼を含む）

（出典）バイオマス産業社会ネットワーク「バイオマス白書2022 ウェブサイト版」 図8

https://www.npobin.net/hakusho/2022/topix_02.htm

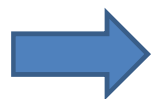
！

実際には、
**燃焼によるCO2排出量は、
 石炭火力発電のより多いとされる**

- 理由：木質バイオマスは化石燃料よりエネルギー密度が低く、水分を多く含んでいるため
- 生産・加工・輸送の過程を含めると、さらに多くなる試算がある。

伐採・陸上輸送・加工（＋海上輸送） の過程でCO2を排出

伐採



陸上輸送



加工



(上) 米・フロリダ州

(下) カナダブリティッシュコロンビア州 (©FoE Japan)



米・フロリダ州



カナダブリティッシュコロンビア州
ペレット工場空撮 (©Stand.earth)

木質バイオマス発電のデメリット②

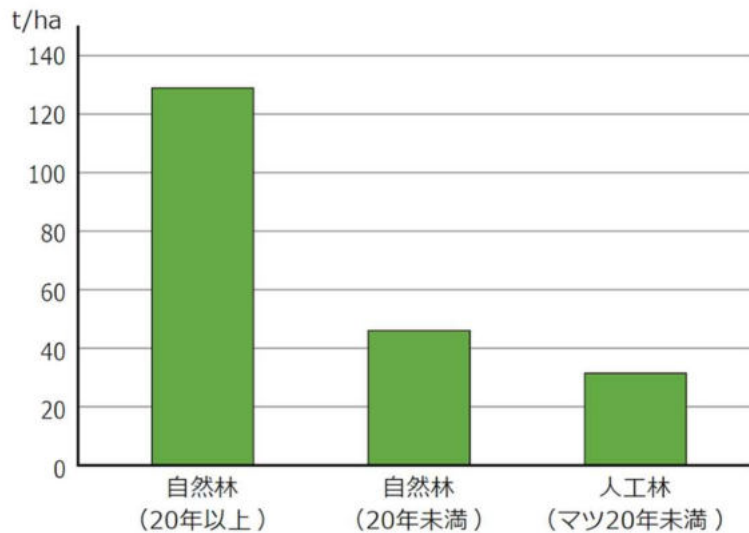


図7：米大陸地上部のバイオマス量 (t/ha)

森林の生物多様性、炭素蓄積機能の損失

例えば、日本が現在多くの木質ペレットを輸入しているカナダのブリティッシュコロンビア州や、今後輸入の増加が見込まれるアメリカ南東部には、生物多様性の豊かな森林が広がっている。



(イメージ写真)
カナダの原生林に生息する
Woodland caribou by
shutterstock_Howard
Sandler

(出典) バイオマス産業社会ネットワーク
「バイオマス白書2022 ウェブサイト版」 図7

URL :
https://www.npobin.net/hakusho/2022/topix_02.html

住民の反対を受けている バイオマス発電所

日本では2019年以降、燃料を輸入するタイプのバイオマス発電に対して、反対の声が高まっている。

住民の反対を受け、事業が撤退した地域も
例：

【京都府舞鶴市】 パーム油発電所、舞鶴市が誘致断念：朝日新聞デジタル（朝日新聞，2020年6月27日）

【京都府福知山市】 京都・福知山市で住民被害を起こしていたパーム油発電所、事業者が廃止決定。新型コロナウイルス感染拡大で、パーム油確保困難。輸入燃料に頼ったバイオマス発電の「盲点」を露呈（環境金融研究機構，2020年12月29日）

インフォメーションシート

目次

1. はじめに～活動の背景・目的
2. ESGウォッシュとは何か？
3. ESGウォッシュに対する意識調査
4. 気候変動と森林
5. 木質バイオマス発電は本当にカーボンニュートラル？
6. **大規模輸入木質バイオマス発電関連事業に投資するESG投資信託**
7. ESG投資信託の運用会社への提言
8. ESG投資信託に投資する市民への提言

6. 大規模輸入木質バイオマス発電 関連事業に投資するESG投資信託

- 投資信託に関連事業に関わる企業がないか、確認が必要
- バイオマス発電事業には、「生産地での森林伐採と加工」「貿易」「発電所の建設」「発電所の操業」など、さまざまな段階がある。

3つのESG投資信託を調査

- 野村アセットマネジメント「脱炭素ジャパン」
- 東京海上アセットマネジメント
「再生可能エネルギー・インカム戦略ファンド」
- アムンディ「環境・気候変動対策ファンド」

【選定プロセス】

- ①商品名に「脱炭素」「カーボンニュートラル」「気候変動対策」「再エネ」等のキーワードが入っている
- ②投資先に大規模輸入木質バイオマス発電関連企業が含まれている

分析に際する着眼点①

各投資信託における「ESG要素」（ファンドの目的、投資対象の選定基準等）が、どのように説明されているか？

投資信託に「ESG」「SDGs」「インパクト」等の名称をつける場合には、顧客がその名称の趣旨を誤認することのないよう、その商品が当該名称の示唆する特性をどのように満たしているかを、一層**明確に説明・開示するべき**である。

ESG投信の特徴や運用プロセスについて、目論見書における**開示の充実**を図るべきである。

（金融庁「資産運用業高度化プログレスレポート2022」より）



分析に際する着眼点②

各投資信託が採用しているESG投資の手法は何か？
GHG排出量の多い企業に対して
「エンゲージメント・議決権行使」を行っているか？

ESG投資信託には

- ESG統合以外の手法も用いるべきこと
- **用いた手法を開示**すること
- 排出量の多い企業に対する積極的な**「エンゲージメント・議決権行使」**が期待されている。

典拠：金融庁「ESG投信を取り扱う資産運用会社への期待」

「金融商品取引業者等向けの総合的な監督指針」（改正案）

ESG投資の7つの手法

① ESG統合

財務情報に加え、ESG要素を加味し投資する手法。

② エンゲージメント・議決権行使

株主として企業行動に影響を与える手法。

その他・・・

③ ネガティブ・スクリーニング

規範や価値観に基づいて、特定の事業に関わるセクターを投資先から除外する手法。
 (例：武器、タバコ、企業による動物実験や人権侵害、汚職)



- ④ ポジティブ・スクリーニング、⑤ 規範に基づくスクリーニング、
 ⑥ サステナビリティテーマ投資、⑦ インパクト投資 / コミュニティ投資



分析に際する着眼点③

ファンドの組み入れ銘柄に、
どのような大規模輸入木質バイオマス発電関連企業が
含まれているか？

各ファンドの投資先に、大規模輸入木質バイオマスに関わる企業を探した。



3つのファンドの分析・比較

運用会社／ファンド名	着眼点① 各投信の 「ESG要素」	着眼点② ESG投資の手法 「エンゲージメント・議決権行使」	着眼点③ 大規模輸入木質 バイオマス発電 に関連する企業
野村アセットマネジメント 「脱炭素ジャパン」	(割愛)	ESG統合、 インパクト投資、 エンゲージメント・議決権	関西電力 九州電力 豊田通商 三井物産
東京海上アセットマネジメン 「再生可能エネルギー・インカム 戦略ファンド」	(割愛)	開示情報なし (ESG統合、サステナブル・テーマ投資?)	英Drax 仏Albioma
アムンディ 「環境・気候変動対策ファンド」	(割愛)	開示情報なし (サステナブル・テーマ投資?)	独電力大手 RWE

インフォメーションシート

目次

1. はじめに～活動の背景・目的
2. ESGウォッシュとは何か？
3. ESGウォッシュに対する意識調査
4. 気候変動と森林
5. 木質バイオマス発電は本当にカーボンニュートラル？
6. 大規模輸入木質バイオマス発電関連事業に投資するESG投資信託
7. **ESG投資信託の運用会社への提言**
8. ESG投資信託に投資する市民への提言

7. ESG投資信託の運用会社への提言

- ①運用している投資信託において、採用している**ESG投資の手法を開示**するべきである。
- ②大規模輸入木質バイオマス発電に関連する企業を、「再エネ」「脱炭素」「気候変動対策」謳うESGファンドから、**ネガティブスクリーニング（除外）**するべきである。
- ③②でネガティブスクリーニングを行わない場合、当該企業に対する**エンゲージメント・議決権行使**を積極的に行うべきである。



インフォメーションシート

目次

1. はじめに～活動の背景・目的
2. ESGウォッシュとは何か？
3. ESGウォッシュに対する意識調査
4. 気候変動と森林
5. 木質バイオマス発電は本当にカーボンニュートラル？
6. 大規模輸入木質バイオマス発電関連事業に投資するESG投資信託
7. ESG投資信託の運用会社への提言
8. **ESG投資信託に投資する市民への提言**

8. ESG投資信託に投資する市民への提言

A 【ESGについての理解】

- ① ESG投資の歴史的背景・持続可能な社会をつくる上での重要性を理解する。
- ② ESGウォッシュの定義、日本における問題の現状を理解する。

B 【個別のESGトピックについての理解】

気候変動と森林について

- ① パリ協定の概要とその長期目標を達成するために森林の保全が重要であることを理解する。
- ② 大規模輸入木質バイオマス発電の気候・生態系における悪影響を理解する。

C 【ESGウォッシュを見抜くための心構え】

- ① 各投資信託のESG投資の手法が何であることを確認する。
- ② 投資先の企業を確認し、大規模輸入木質バイオマス発電に関連する企業が含まれていた場合、当該投資信託への投資を控える。



ご清聴ありがとうございました。

- Q&A
- 今後の活動予定
- 参加者アンケート

<https://forms.gle/AWKrxrYAgzypAchq5>



ESGウォッチの活動予定（この後～4月）

- 意識調査の回答をもっと集め、最終結果を報告
- インフォर्मーションシートの完成
- 運用会社への送付・情報提供

ESGウォッチの活動予定（2023年度）

目標

今後気候変動や生物多様性損失の影響を受ける若者世代が、自身の資産形成だけでなく持続可能な社会の実現にも貢献できるシステムの構築を目指す。

- ・ 若者の行動変容を促す **啓発活動**
- ・ 資産運用会社に対する **提言活動**
- ・ 啓発・提言活動を担う **人材育成**

活動予定～具体的に（2023年度）

《若者の行動変容を促す啓発活動》

- ①有識者を講師に、勉強会を実施
- ②ウェブサイトでの情報発信

→「有識者インタビュー」、ウェブサイト「ESGウォッチポータル」

《資産運用会社に対する提言活動》

- ①「ESGウォッチ」キャンペーン
・・・「調査レポート」「ESGウォッチ宣言」「アクション・ガイド」等
- ②「レポート」「宣言」「ガイド」を踏まえ、資産運用会社に改善を要請

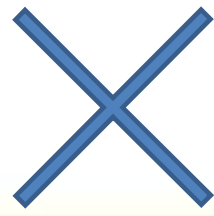
《啓発・提言活動を担う人材育成》

- ①「ESGウォッチインストラクター」の育成
- ②「ESGウォッチライター」の育成

ESGウォッチポータルイメージ

「ポータルサイト」 目的の情報に行く為の入り口になるサイト
 「ESGウォッチポータル」 ESGウォッシュを知り判断するための情報を収集し、まとめる

LINE投資部



Deforestation Free Funds